

2016年1月8日

各 位

会 社 名 マックスバリュ北海道株式会社
 代表者名 代表取締役社長 出戸 信成
 (コード番号: 7465 JASDAQ)
 問合せ先 取締役経営管理本部長 石岡 忠雄
 電 話 011-631-5192
 当社の親会社 イオン株式会社
 代表者名 取締役兼代表執行役社長 岡田 元也
 (コード番号: 8267 東証第一部)

2016年2月期通期業績予想の修正に関するお知らせ

当社は、最近の業績動向を踏まえ、2015年10月7日に公表した、2016年2月期通期(2015年3月1日～2016年2月29日)の業績予想を下記の通り修正いたしますのでお知らせいたします。

記

1. 業績予想の修正

2016年2月期 通期業績予想数値の修正(2015年3月1日～2016年2月29日)

	営業収益	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	104,000	1,550	1,600	450	65.77
今回修正予想(B)	109,000	1,200	1,250	400	57.95
増減額(B-A)	5,000	△350	△350	△50	—
増減率(%)	4.8	△22.6	△21.9	△11.1	—
(ご参考)前期実績 (2015年2月期)	96,658	1,510	1,595	428	62.64

2. 差異および修正の理由

通期の業績予想につきましては、前回公表した業績予想に、2015年10月1日に株式会社いちまるから、スーパーマーケット事業を承継し、承継に係わる影響を反映いたしました。

また既存事業の状況として、営業収益は、継続的に実施している既存店舗の活性化やイオンの電子マネーWAONの会員さま拡大等により客数が増加していることと、即食、中食需要の高まりに対応したデリカゾーンの強化や節約・低価格志向に対応した毎週の重点販売商品の販売強化等により買い上げ点数が増加し、客単価が向上していること等により、好調に推移する見込みであります。

一方、販売費及び一般管理費は、事業承継に関する費用の発生等もあり営業総利益の伸びを上回る見込みとなりました。以上の理由により、上記のとおり修正いたします。

上記の業績予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は今後様々な要因により予想数値と異なる可能性があります。

以 上